

# 6年生 国語科指導案

平成29年11月22日(水) 5校時  
男子8名 女子8名 計16名  
授業者 大久保 麻由美

1. 単元名 「おすすめ美術館」をつくって、名画を推薦しよう  
(『鳥獣戯画』を読む この絵、私はこう見る 光村 6年生)

## 2. 重点指導事項

- B 書くこと (1) オ 表現の効果などについて確かめたり工夫したりすること。  
C 読むこと (1) ウ 目的に応じて、文章の内容を的確に押さえて要旨をとらえたり、事実と感想、意見などとの関係を押さえ、自分の考えを明確にしながらかきだすこと。

## 3. 言語活動

- (2) ウ 事物のよさを多くの人に伝えるための文章を書くこと。

## 4. 指導目標

- 筆者のものの見方・考え方に興味をもち、自分の推薦文に生かそうとする。(関・意・態)
- 事実と感想、意見などを区別したり、表現の効果を考えたりして、推薦したい絵の良さについて書くことができる。(書くこと)
- 筆者のものの見方・考え方の根拠となる事実と、それらをもとにした説明の工夫を読み取ることができる。(読むこと)
- 文章をわかりやすくするためのいろいろな構成や方法を理解し、表現に生かすことができる。(知識・理解・技能)

## 5. 単元について

### ○ 児童観

- ・「やまなし」では、宮沢賢治に関する資料や作品を一人あたり平均10作品読み、作者の生き方等をふまえて作品を読もうとする意欲が芽生えてきた。
- ・これまでの学習で、自分の経験と感想、意見を区別しながら文章に表す学習を2回行ったが、何かを推薦する文章を書く経験はほとんどない。
- ・「時計の時間と心の時間」では、筆者の考えやその根拠を読み取ることができたが、それを伝えるための表現の工夫とその効果に気付いている児童は6割程度である。
- ・これまでに様々な文章の構成について学習してきたが、それらを自分の表現に生かすという経験は少ない。

### ○ 教材観

- ・筆者が『鳥獣戯画』をどのように見ているかが分かりやすい文章であり、絵と対応させながら読むなど、児童が興味をもって読むことが期待される。
- ・『鳥獣戯画』を読むで学んだことを生かして絵を推薦する文章を書くことができるつくりになっている(「この絵、私はこう見る」)。
- ・『鳥獣戯画』を読むは、絵に基づいた筆者のものの見方・考え方が、事実と意見を述べたり読み手を引きつける表現方法を用いたりして展開されている。
- ・段落ごとの役割や構成がとらえやすく、臨場感のある描写や文末表現など、児童が自分の推薦文に生かしやすい表現がたくさんちりばめられている。

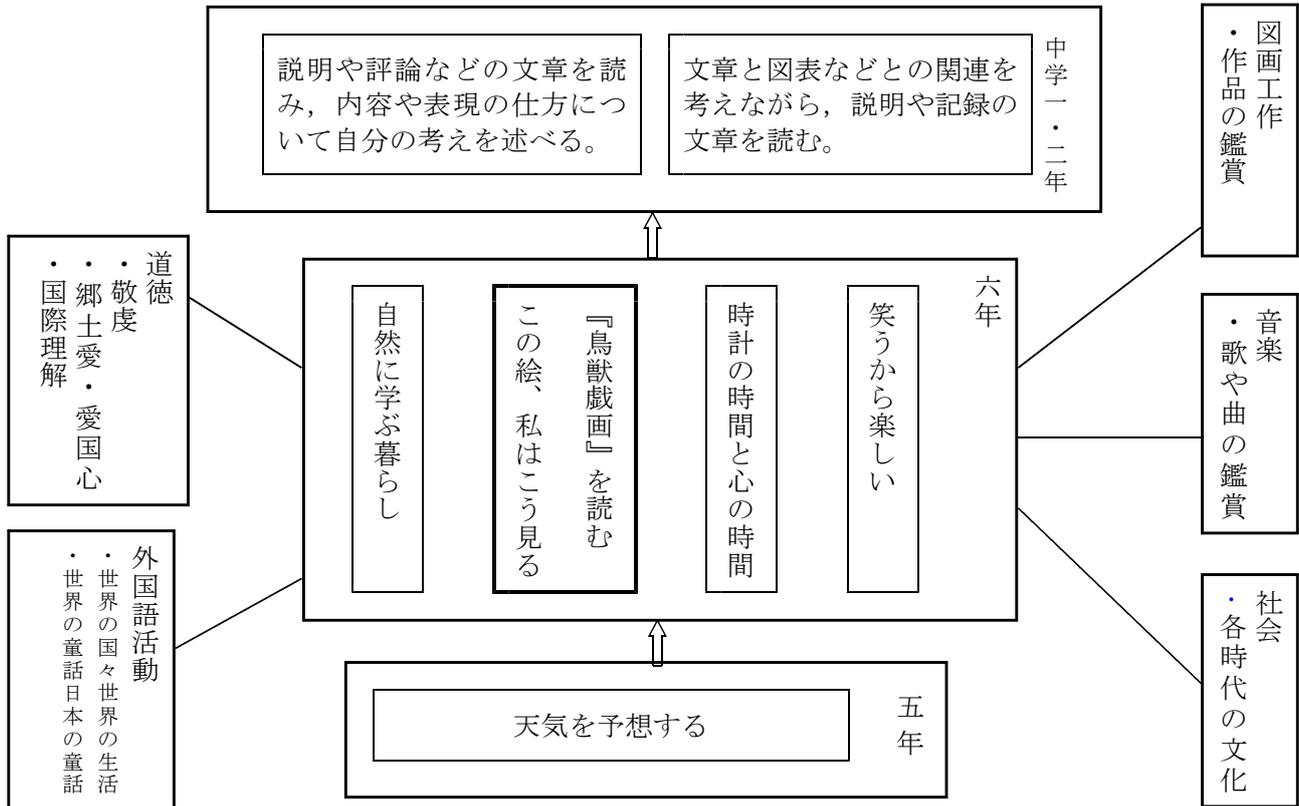
### ○ 指導観

- ・自分が選んだ絵に推薦文を添えて図工室に飾り、全校児童に絵に親しんでもらうという言語活動(おすすめ美術館)を示し、意欲をもたせる。魅力的な推薦文を書くために、『鳥獣戯画』を読むで絵の見方や表現方法を学ぶ必要があることに気付かせ、興味をもって読めるようにする。
- ・『鳥獣戯画』を読むの授業における「つなげる」で書きためた推薦文の一部を生かして第三次で推薦文を完成させる。第一次で書いた推薦文と比べさせ、よりよい推薦文になったことを実感させる。また、絵の作者や描かれた時代についての基礎情報を調べさせ、推薦文に生かせるようにする。
- ・『鳥獣戯画』を読むを読み取る学習では、事実と感想の違いを的確にとらえさせ、推薦文の特性を理解させる。筆者が絵のどこに目を向け、どのようにとらえて、どのように評価しているかに着目させて「絵を読む」とはどういうことなのかについて自分の考えをもたせる。また、それを読み手に伝えるために使った表現方法の効果にも目を向けさせる。
- ・筆者の実況中継的な表現や、絵を細部まで見て考えを述べ、価値を明確にするという文章構成の仕方について理解させ、活動の中でそれらの工夫を自分の推薦文に取り入れさせる。

## 6. 評価規準

国語への関心・意欲・態度	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技術
○筆者のものの見方・考え方に興味をもち、自分の推薦文に生かそうとする。	○事実と自分なりの感想、意見などを区別しながら、推薦したい絵の良さについて書くことができる。	○筆者のものの見方の根拠となる事実と、それらをもとにした説明の工夫を読み取ることができる。	①文章をわかりやすくするためのいろいろな構成や方法を理解し、表現に生かすことができる。 ②新出漢字を習得し、語句の意味が理解できている。

## 7. 他教科、他の領域、他の単元とのつながり（カリキュラム・マネジメント）



## 8. 指導計画（全10時間）

過程	時間	ねらい	主な学習活動	評価規準（【 】）と指導上の留意点（・）
第一次	1	・『鳥獣戯画』を読む」や言語活動と出会い、学びへの意欲をもつ。	・勝本小学校には「本の紹介」はあるが「絵の紹介」をする機会がないことを知り、言語活動（おすすめ美術館）と出会う。 ・お気に入りの絵を選び、推薦文を書いてみる。 ・より良い推薦文を書き、全校児童に興味や関心をもってもらうために、「『鳥獣戯画』を読む」を取り扱うことを知る。 ・題名読みをする。 ・感想を書く。（心に残った段落、疑問点など）	・図書室と図工室内の掲示物等を比較して実感させる。 ・なかなかうまく書けないことに気付かせる。 ・サンプルまたは本物を示し、完成形のイメージをもたせる。 ・先に絵を見せ、「人類の宝」という表現に納得できるか問い、自分の感じ方と違うことに気付かせる。 ・『鳥獣戯画』を見る」ではないことに気付かせる。【関】
	2	・学習の見通しをもち、語句の習得 ・音読をして理解を深め	・単元の学習計画を立て、本時が漢字や言葉の意味を学ぶ時間であることを理解する。 ・漢字ドリルを用いて、新出漢字を練習し、身につける。	・単元全体の学習の流れを説明して掲示する。 ・書き順、意味などを示す。 ・調べて理解すべき言葉をいくつか示す。【言②】

第二次 言葉 の力 を高 める		る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国語辞典を用いて、難しい言葉の意味を調べる。</li> <li>・すらすら読めるように教材文をくり返し音読する。</li> </ul>	
	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・『鳥獣戯画』を読む」を読み、文章の構成や段落ごとの要旨を理解する。</li> </ul>	<p><b>課</b> いくつかの意味段落になるだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全文を読み、各段落の内容をもとに、構成をとらえる。</li> </ul> <p><b>ま</b> 3つ。</p> <p><b>ポ</b> 全体と部分、背景で構成せよ。</p> <p><b>つ</b> 自分の推薦文の構成を考える。</p> <p><b>宿</b> 別の推薦文(図工「作品カード」)の構成を読み取る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・絵の全体について述べている段落と特に注目してほしい細かい部分について述べている段落があることに気付かせる。</li> <li>・歴史的な背景や絵巻物の仕組みに触れていることに気付かせる。</li> <li>中 まとめの段落はどこからですか。</li> <li>・自分の絵についての基礎知識を知る必要があることに気付かせ、次時への意欲をもたせる。【言②】</li> </ul>
	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・『鳥獣戯画』について理解を深める。</li> </ul>	<p><b>課</b> 筆者はどんな『鳥獣戯画』についての基礎知識を書いているだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・3, 4, 8段落を読む。</li> <li>・作品名や作者、描かれた時代等を調べ、絵についての基礎的な知識を習得する。</li> </ul> <p><b>ま</b> 作品名, ジャンル, 年, 時代。</p> <p><b>ポ</b> 絵の情報を入れよ。</p> <p><b>つ</b> 自分の絵の情報を得る。</p> <p><b>宿</b> 別の推薦文(図工「作品カード」)より絵の情報を抜き出す。</p>	<p>中 絵についての情報の量はどうか。(多いか少ないか)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・推薦文である以上、読み手に絵の良さを伝えることが大切だということを確認させる。</li> <li>・作者をしぼり、交流しやすいようにする。</li> <li>・絵に対してのびのびとした見方ができるように、提示する資料は詳しくすぎないものを使わせる。【関】</li> </ul>
	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・細かく見たときの『鳥獣戯画』に対する見方</li> <li>・考え方を理解する。</li> </ul>	<p><b>課</b> 筆者はどんな手順で絵の細かい所の良さを述べているだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・5～7段落を読む。</li> <li>・文章と絵を対応させて読んでいく。</li> <li>・絵の部分, 見方, 考え方を表にまとめ、理解を深める。</li> </ul> <p><b>ま</b> ①絵をよく見る(読む) ②とらえる ③見方 ④良さ</p> <p><b>ポ</b> 絵をよく見よ。</p> <p><b>つ</b> 見る部分を限定して推薦文の一部を書く。</p> <p><b>宿</b> 別の推薦文(図工「作品カード」)から作品を細かく見ている部分を抜き出す。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・絵の部分, 見方, 考え方を対応させられるようなワークシートを準備する。</li> <li>中 こんなに細かい所まで良さを見付けられたのはなぜでしょう。【読】</li> </ul>
	6 (本時)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・『鳥獣戯画』を「人類の宝なのだ」と表現した理由について考えを深める。</li> </ul>	<p><b>課</b> 筆者はなぜ「人類の宝なのだ」と表現したのだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・9段落を読み、理由を挙げる。</li> </ul> <p><b>ま</b> 絵や作者・伝えてくれた人々のすばらしさを強く伝えたかったから。</p> <p><b>ポ</b> 断言せよ。(表現の効果)</p> <p><b>つ</b> 最終文を「キーワード+なのだ」で考える。</p> <p><b>宿</b> 別の推薦文(図工「作品カード」)の最終文を考える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「国宝」は事実, 「人類の宝」は筆者の考え方であることを確認させる。</li> <li>中 「人類の宝なのだ」には筆者のどんな思いを感じますか。</li> <li>・「人類の宝なのだ」という表現効果を考えさせる。</li> <li>・第三次で再考してもよいことを伝える。【読】</li> </ul>
	7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・見方や考え方を伝えるために用いた表現の工夫を理解する。</li> </ul>	<p><b>課</b> 筆者の表現の特徴を一言で言うとはだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1, 2段落を読む。</li> <li>・文章全体に見られる書き方の工夫を理解する。</li> </ul> <p><b>ま</b> 実況中継せよ。(表現の効果)</p> <p><b>ポ</b> 書き出し, リズム, 文末の工夫</p> <p><b>つ</b> 推薦文の書き出しを考える。</p>	<p>中 こんな書き出しも分かりやすいですよ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・工夫していない1段落を示し、比べさせ、どちらが読み手に伝わるかについて考えさせる。【言①】</li> </ul>

			個別の推薦文(図工「作品カード」)を実況中継的に書き直す。	
第三次 充実感をもつ	8 9	・絵の推薦文を書く。	・「つなげる」で書きためたものを生かしながら推薦文を書く。	・「つなげる」で書きためた物を再考しながら書かせる。【書】
	10	・推薦文を交流し合い学習をふり返る。	・最初に書いた推薦文と比較し、充実感をもつ。 ・友だちの見方に着目して推薦文を読み合う。	・以前より絵画に対する関心が強くなったことに気付かせる。【関】
→校内放送で下級生や教職員に言語活動を知らせ、お気に入りの絵(低学年)や推薦文(高学年・教職員)に☆シールを貼ってもらう。				

## 8. 本時の指導 (6/10)

### (1) 本時の目標

- 『鳥獣戯画』を「人類の宝なのだ」と表現する根拠を文章をもとに読み取ることを通して、目的に応じて文章の内容を的確にとらえたり、筆者のものの見方・考え方を理解したりすることができる。

### (2) 授業仮説

○「ねりあげる」過程において、一人調べの結果を出し合わせた後、最後の一文の文末表現「なのだ」に注目させることによって、筆者の思いや意図について考えを深めながら課題解決のために意見を出し合い、筆者のものの見方・考え方をとらえることができるであろう。
○「ふりかえる」過程において、ねりあげる過程でとらえた本時のポイント（事実に基づいた意見を言い切りの形にするという効果的な表現）を自分の推薦文に生かすことができるであろう。

### (3) 展開

過程	学習活動	教師の支援
つかむ 5分	1 学習問題を知る。 ・単元のめあて(言語活動)を確認する。 ・学習計画を確かめる。 2 自分なりの課題を確かめる。 3 本時の課題を考える。 4 課題をつかむ。 【課題】	・言語活動の内容を確認する。 ・具体物を提示する。 ・ノートや教室に掲示している学習計画を参考にさせる。 ・ノートに書かせる。困っている児童には個別指導を行う。 ・板書と同時にノートに書かせ、一斉読みさせ解決意欲を高める。
	筆者はなぜ「人類の宝なのだ」と表現したのだろうか。	
しらべる 15分	5 課題解決の見通しを立てる。 (予想) 世界の中でもめずらしいから 絵がすばらしいから (方法) まとめの段落(9)を読む 理由の根拠に線を引く 6 見通しを発表し合う。 7 自分で決めた方法で一人調べをする。 ①音読する(9段落) ②根拠に線を引き、考えを書く。	・見通しを立てる時間を確保する。 ・1つ見通しを立てた児童には、別の見通しを考えるよう声掛けをする。 ・ノートに書かせる。 ・これまでに集めてきた「見通し」の掲示物を参考にさせる。 ・全員が1つは見通しを書けたことを確認する。 ・自分なりの解決方法を決定させる。 ・困っている児童には、一文目を共に読み解くなど個別支援をする。
ねりあげる 集める 検証	8 調べたことを発表し、相互に検討する。 <u>ねりあげの手順</u> ①発表する。 「～だから人類の宝なのだ」と表現し	・机間指導により、指名計画を立てる。 ・黒板に貼った本文に記していく。 (予想される答え) A 絵が素晴らしいから。 ・12世紀(平安時代)に生み出されたから

10分 15分	たのだと思います。それは、○ページの□行目の～で分かります。」 ②発言箇所に線を引き、短い言葉で板書する。 ③中心発問をする。	・とても楽しくモダンな作品だから ・筆遣いが自然でのびのびしているから ・自由な心をもっていたから ・自由闊達だから B 世界にないから。 C 伝えてくれたから。 ・850年、保存して伝えてくれたから →複数の根拠があることを確認させる。
深める 5分	◎ 「人類の宝なのだ」には筆者のどんな思いを感じますか。 ④自分の考えを書く。 ・最後に強調したい。 ・『鳥獣戯画』の良さを伝えたい。 ・心に残るようなキーワードで伝えたい。 ・『鳥獣戯画』を薦めたい。 ・自信がある。 ⑤発表し合う。必要に応じて話し合う。 ⑥まとめていく。 9 本時の課題を解決し、まとめる。 ・自分なりのまとめを書き、発表する。 ・みんなの考えをもとにまとめる。 【まとめ】	・「国宝」は事実、「人類の宝」は筆者の考え方であることをとらえさせる。 ・「人類の宝」という意見に断定の「なのだ」を付けたことに注目させ、その表現の効果を考えさせる。 ・ここで挙げられた児童の考えは、筆者が見方・考え方を広げて根拠を述べたことが影響していることに気付かせる。(なぜ強調したい？鳥獣戯画の何を薦めたい？)
ふりかえる 10分	自己評価 10 解決過程や結果のよさを味わう学習活動をする。 ⑩断言せよ。(表現の効果) ⑪「キーワード+なのだ」で考える。 11 課題解決の経過をふり返る。 ・本時の見通しについてふり返る。 ⑫別の推薦文(図工「作品カード」)の最終文を考える。	・活動の様子を教師が紹介したり、同じ作者の人同士で紹介し合わせたりする。 ・同じ作品について違う言葉で表現した例があれば紹介したり、考えたことを発表させたりする。 ・効果的だった「方法」について考えさせる。 ・宿題と次時の学習について説明し、意欲をもたせる。

絵や作者・伝えてくれた人々のすばらしさを強く伝えたかったから。

(4) 評価

○ 『鳥獣戯画』を「人類の宝なのだ」と表現する根拠を文章をもとに読み取ることを通して、目的に応じて文章の内容を的確にとらえたり、筆者のものの見方・考え方を理解したりすることができたか。

(5) 板書計画

見通しのふり返り で考える。	つなげる 「キーワード+なのだ」	⑩断言せよ。 ⑪ふりかえる 人々のすばらしさを強く伝えたかったから。	まとめ 絵や作者・伝えてくれた ⑩ 「人類の宝なのだ」には筆者の どのような思いを感じますか。	本文 C B A	一人調べ ねりあげ	見通し 予想 方法	めあて 「おすすめ美術館」を つくって、名画を推薦しよう 課題 なぜ筆者は「人類の宝なのだ」と表現したのだろうか。
-------------------	------------------	--	---	-------------	--------------	-----------------	---